

## 令和3年度 事業報告書

(自) 令和3年4月1日  
(至) 令和4年3月31日

### 1. 事業の概況

令和3年度もまた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄された1年でした。しかしながら、漫然と対応に苦慮していた昨年度とは異なり、大人数での活動は避けつつ感染防止対策に徹底して努め、事業を進めることができました。また、屋外での植樹・育樹活動や海岸での海洋プラスチックごみ清掃活動、校外での森林教室開催など、当会のプログラムを魅力に感じ開催の要望が多くありましたことは、嬉しい気づきとなりました。

golferからの緑化協力金による公立小中学校や病院、福祉施設、社会公共施設、国立公園や河川流域などの健全な緑化推進、環境保全や改善、美化等は、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団の確かなご協力を得、推進いたしました。

GGG 国立・国定公園支援事業は、環境省と連携し2年ぶりに実施することができました。多くのボランティアの方々が一堂に会することはできませんでしたが、自然環境保全のための現地調査や外来種駆除、安全確保のための遊歩道整備や倒木処理、また行政では手が回らない箇所への補修や整備、美化清掃等を行い、次年度へのステップとなる活動をしました。

被災地復興支援事業として継続している「golfer桜の森」と「golfer未来の森」は、丁寧な保全活動により順調に成長しています。そしてそれぞれの森での、地域の方々や親子、小学生たちを対象としたバラエティに富んだ自然体験や活動は、自分たちの取り巻く環境を知り、森の役割、大切さを学び、自ら育て継承するという意識の醸成にもつながっています。

東日本大震災、台風などで重ねて壊滅的な被害を受けた野田村の「ハマナス」植栽事業は2年ぶりに実施でき、初年度と合わせて1,300株を植樹しました。

二戸市の「漆」植栽事業についても初年度に植栽した3,650本の保育保全活動を実施し、さらには国有林野を新たな植栽地に1,290本植樹しました。

新型コロナウイルス（COVID-19）が収束せず、さまざまな制限がかかるなかでも、全国のgolfer、ゴルフ場、会員の皆さまをはじめ、関連団体の方々のご理解、ご支援のお陰で、様々な事業に取り組むことができました。

衷心より感謝を申し上げ、次年度へと繋いでまいります。

## 2. 会員増等への取り組み

令和2年に入って蔓延した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束は一向に見られず、会員の入会促進は難しい状況でしたが、当会活動へのご理解、ご賛同をいただき、賛助会員としての入会がありました。

緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置がとられ、行動制限を余儀なくされているなかではありましたが、ゴルフを楽しみホールインワン・アルバトロスを達成された123名の方々からご寄付をいただきました。

## 3. 事業活動

### (1) 地方緑化事業

#### 1. 緑化協力金の配分

令和3年9月（第89回配分：令和3年1月～6月緑化協力金分）と、令和4年3月（第90回配分：令和3年7月～12月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として24.9百万円を下表の各団体に配分しました。

〔ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先等〕

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 24,860 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設等、社会公共施設への美化緑化等 19,245 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 120 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川、及びその近傍における美化緑化等 5,495 千円

#### 2. 地方緑化事業の推進

配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・環境保全や改善のための植樹緑化事業を推進いただきました。また、社会環境の変化に応じ、植栽樹木のメンテナンスや除伐等も積極的に取り入れていただきました。

#### 3. 地方緑化事業の規模

地方緑化事業以外に、次項で述べる「全国緑化事業」「植樹緑化事業」においても健全な緑化推進・自然環境保全活動を行っておりますが、自然災害に見舞われた被災地支援のための植樹、環境改善、また次代を担う子どもたちのための教育環境緑化推進等にも尽力しています。

### (2) 全国緑化事業

例年、環境省、林野庁、都道府県等が主催する緑化・環境関連行事や民間の関連事業に協力や協賛をしていますが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、行事やイベント等はオンライン開催や延期、そして中止になるものもありました。

## 1. 緑化貢献の顕彰

「エージシュート大賞」及び「緑化貢献大賞」は大変好評を得ています。会員ゴルフ場を通じて特製バッグ札を授与し表彰しています。「エージシュート大賞」については9名の方が達成されました。年間最多プレーの方々を表彰する「緑化貢献大賞」は、15名でした。

## 2. GGG 国立・国定公園支援事業

環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと自然環境保全を目的としたボランティア団体による健全な活動を支援いたしました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所、または都道府県から推薦が得られた団体の申請を受け、選考委員会で厳正な審査のうえ選定。16団体に助成しました。

コロナ禍における活動の推進は難しかったようですが、工夫しながらも地道に実施できたことにボランティア団体の方々は喜ばれました。事務局を一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

## (3) 植樹緑化事業

被災地復興支援、意義ある緑化推進、環境保全を、また次代を担う子どもたちの学校や福祉施設、公園などの公共施設をとりまく緑化環境の改善を念頭に、海岸防災林活動や森林教室、親子対象のイベント等、開催準備を進めました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束がなかなか見られず、計画通りには推進できませんでしたが、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が解除された際には、精力的に実施できた活動もあり大きな反響をいただきました。

### 1. 被災地復興支援事業

復興のシンボルである憩いの桜公園づくりは、宮城県県民の森（宮城県宮城郡利府町）内で推進しました。また、海岸防災林の再生事業については、維持管理に必要な保育作業を丁寧に実施しました。桜公園「ゴルファー桜の森」、海岸防災林「ゴルファー未来の森」は、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会、ボランティアインストラクターの方々のしっかりとしたサポートのもと、活動いたしました。

#### (1) 宮城県県民の森「ゴルファー桜の森」保全事業

「ゴルファー桜の森」が健全に成長し、より多くの方の憩いのフィールドになるように、施肥作業、刈払整備、つる切り、点検など、4月から9月にかけて実施しました。全枯損、上部枯損等がありましたが、ウサギ食害防止ネットの効果でウサギ食害は少なくなり、スズメバチ捕殺トラップ設置の効果でスズメバチによる被害はありませんでした。しかし、イノシシがユリの根を掘ることで苗木の枯損や表土の攪乱が続いてしまい、11月11日（木）の「森林教室」で利府町立青山小学校4学年の児童たちと捕植作業を行いました。

## (2) ゴルファー桜の森「森林教室」

「ゴルファー桜の森」では、地域の子どもたちが森づくりに挑戦したり、自然にふれあったりする機会を提供することで、一人ひとりが自然環境に対する理解を深めながら感性を養い、自ら桜を育て見守るという意識を醸成する場になっています。

令和3年11月11日(木)、『利府町立青山小学校』4学年児童58名対象に引率の先生3名を交え、また、令和3年11月16日(火)、『仙台市立六郷小学校』3学年児童129名に引率の先生5名を交え「森林教室」を開催いたしました。感染対策を万全に、午前中は、除伐枝打ち・サクラ植樹・植樹地施肥・遊歩道整備などに加え、ロープ遊び・ブランコ・崖のぼり・木登りなど「ゴルファー桜の森」の特徴を生かしたプログラムに汗をかき、泥んこになりました。午後は、森の木枝を使ったネイチャークラフト工作や薪割り、井戸掘りにチャレンジし、バスケットボールやバドミントン、パターゴルフでは、友達同士でスコアを競い合い大いに盛り上がりました。森林インストラクターの方々(11月11日24名/11月16日32名)のあたたかいサポートを受けながら、自然を存分に満喫しました。学校内での活動制限も続くなか児童の元気に楽しむ姿や笑顔で「ゴルファー桜の森」は、いっぱいになりました。

## (3) ゴルファー桜の森「県民の森ごみクリーンアップ活動」

「ゴルファー桜の森」が造成されている県民の森では、今の世情を反映するかのようになり、プラスチックごみ・空き缶・タイヤ・家電製品などの不法投棄が増え、危惧する状況でした。そこで、令和3年12月11日(土)、宮城県及び県民の森との協働で、ごみ清掃活動を実施いたしました。県内一般参加の親子の方々、宮城県職員、県民の森職員、森林インストラクターや運営スタッフなど48名を4班に編成。感染対策を万全に清掃道具の消毒もこまめに行い、散策を兼ねながら軽やかに活動しました。「現状を知り」「これからを考える」機会にもなりました。

## (4) 「ゴルファー未来の森」保全事業

海岸防災林の再生を目的とし、平成28年度から平成30年度にかけ、抵抗性クロマツを植栽し「ゴルファー未来の森」を造成しました。現在は健全な育成を念頭に保全事業を推進しています。

5月1日から9月30日にかけて、生育調査、状況確認をし、雑草除去、刈払整備作業を行いました。施肥作業は、生育良好につき実施しませんでした。

- a. ゴルファー未来の森 山元 (宮城県亘理郡山元町 3,000 m<sup>2</sup>)  
生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を3回に渡り11名で実施。昨年度捕植分は順調に活着。苗木は雑草に負けない大きさ、太さに成長するも、残存緑地から侵入するクズがひどく、保育管理作業の継続が必要となります。
- b. ゴルファー未来の森 仙台 (宮城県仙台市荒浜田の神 2,000 m<sup>2</sup>)  
生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を3回に渡り10名で実施。生育は良好。葉の色は薄く水はけが悪いものの、成長を続けています。

- c. **golfer未来の森 北官林** (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m<sup>2</sup>)  
 生育調査、状況確認、刈払・つる切り作業を4回に渡り12名で実施。順調に育ち、施肥の効果か葉の色が戻ってきました。雑草は少なめながら、ツルマメ等しっかりと除草作業をしました。

◇ 生育状況調査結果 (令和3年9月現在)

植栽年月	場 所	枯損数	生存率	生育状況	樹高最大
平成28年5月	山 元	1 / 506	99.8 %	良 好	264 cm
平成29年3月	山 元	25 / 517	95.2 %	良 好	240 cm
平成29年5月	仙 台	61 / 1,000	94.0 %	良 好	194 cm
平成30年3月	北官林	23 / 512	95.5 %	やや良好 補植後良好	184 cm
平成30年5月	山 元	118 / 520	77.3 %	やや良好	146 cm

- (5) 「golfer未来の森」海岸防災林活動 (宮城県仙台市荒浜北官林)  
 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により、学校内での活動にも制限がかかり、屋外でのイベントや教室開催などに大きな期待がかかりました。

令和3年7月12日 (月)、仙台市立六郷小学校3年生129名が集い「golfer未来の森 北官林」の保育活動、除草や施肥を行いました。その後、深沼海水浴場に植物観察をしながら移動し、海岸のマイクロプラスチックごみ清掃とビーチコーミング活動を実施。貞山運河ではカニやエビ、魚などの観察、釣りも楽しみました。

マスク着用、検温、消毒など感染対策を十分考慮し、小さい班に分かれて活動しましたが、引率教職員5名に森林インストラクタースタッフ32名が加わり総勢166名での開催となりました。たくさんの笑顔があちこちに溢れ活気のある1日でした。

- (6) 「golfer未来の森 北官林」見学と海洋プラスチックごみ清掃活動

令和3年10月10日 (日)、海岸防災林エリア探検プログラムを実施いたしました。好評のプログラムながら新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を考慮し、少人数で開催しました。宮城県内の親子32名、及び運営スタッフ8名とともに、海岸防災林「golfer未来の森 北官林」を見学し、地域への大きな役割と健やかな成長を確認いたしました。そして、深沼海岸でマイクロプラスチックごみ清掃、ビーチコーミングに励み、貞山運河では賑やかにハゼ釣りを満喫しました。

- (7) 野田村「ハマナス」植栽事業 (岩手県野田村十府ヶ浦公園)

東日本大震災、そして立て続けに起きた台風などにより甚大な被害を受けた野田村が取り組んでいるコミュニティの再生、新たな村づくりを支援しようと、令和元年度より3年計画で推進しています。

野田村の花「ハマナス」を植栽し、心安らぐ豊かな地域をつくります。初年度は、令和元年8月11日、11月6日の2度にわたって合計600株の苗を植えました。

## 公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

昨年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、活動の自粛を余儀なくされましたが、今年度は「ハマナスいっぱいプロジェクト！」を令和3年7月4日（日）に開催。地元園芸家による植栽方法の説明、指導を受け、十府ヶ浦公園多目的活動広場遊歩道沿いに背丈 90 cmほどのハマナスを 700 株植樹しました。参加された親子や年配の方々、スタッフ含め 45 名の笑顔が絶えない 1 日となりました。

### 2. 健全な緑化・環境教育支援事業

#### (1) 二戸市「漆うるわしの森」保全事業（岩手県二戸市浄法寺町漆原 3.72ha）

二戸市が取り組んでいる漆の植栽、漆職人育成事業等に賛同し、令和元年度より漆植栽事業を二戸市漆産業課と連携し推進しています。

令和元年度に植栽した 3,650 本の苗木が健全に成長するように、6 月下旬から 7 月上旬にかけて、また 7 月上旬から 8 月末まで 2 度にわたり下刈りを実施しました。また、食害木や枯木約 10 本の捕植を行いました。鳥獣による食害が見られるので、健全に成長するように、今後も注意をもって観察、育成・保全活動をしていきます。

#### (2) 二戸市「漆うるわしの森」植栽事業（岩手県二戸市浄法寺町馬洗場 1.37ha）

令和3年11月12日（金）二戸市浄法寺町馬洗場地区の国有林野を新たな植栽地に「漆うるわしの森づくり」植樹祭を開催いたしました。不安定な天候ではありましたが、二戸西小学校、浄法寺小学校の児童たち、浄法寺中学校の生徒たち、一般ボランティアの方々や団体の方々など総勢 150 名が集いました。日本うるし掻き技術保存会員や岩手県浄法寺漆生産組合員が、指導及びサポートスタッフとなり、漆苗木を 500 本植栽しました。また、別日程で浄安森林組合の方々に 790 本の植栽を委託し、計画通り完了いたしました。今後は育成に注力していきます。

#### (3) 緑のまなび事業（大分県豊後大野市大野町）

令和4年秋、第45回全国育樹祭を開催する大分県で、緑の学び事業を実施する計画で推進しました。お手入れ行事が行われる豊後大野市の市立大野小学校における緑化環境整備が目的です。

樹木医指導のもと、校庭内で樹勢が衰退している古木周辺の土壌改良、ソメイヨシノの後継樹ジンダイアケボノ桜の植栽、校舎東斜面の侵入雑木の伐採、整理等を行います。児童たちが参加し、緑や自然について学ぶ機会に致します。

大分県、公益社団法人国土緑化推進機構とともに取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現況に鑑み、事業の実施、及び記念式典の開催は令和4年度に執り行うことに決定いたしました。

## 4. その他事業

### 1. ホームページの充実

ゴルファーのみならず、誰からも当会活動への興味や理解が得られるように、そして賛同や支援へつながるように、ホームページやフェイスブックの更新、刷新を

適時図りました。

## 2. ロハスフェスタへの後援

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ全開催に対し 一ロハスフェスタ万博 2021 SPRING (4月29日～5月5日/5月8日～9日)、ロハスピクニック尼崎 produced by ロハスフェスタ (5月15日～16日)、ロハスフェスタ淡路島 (5月29日～30日)、ロハスフェスタ東京 2021 (9月18日～20日)、ロハスフェスタ広島 (10月2日～3日)、ロハスフェスタ福岡 2021 (10月9日～10日)、淡路ロハスピクニック “ALOHAS” produced by ロハスフェスタ、ロハスフェスタ万博 AUTUMN (10月29日～31日/11月3日、11月5日～7日) 一 後援しました。

ロハスフェスタ万博 2021 SPRING は蔓延防止等重点措置、そして大阪府の医療非常事態宣言も発出され、6月11日～13日、18日～19日に延期。(「ロハスフェスタ万博 2021 初夏」へ名称変更)。しかし、収束の兆しは一向に見られず緊急事態宣言が発出、そして延長され、会場の万博記念公園も休園延長となり最終的には中止されました。

ロハスピクニック尼崎 produced by ロハスフェスタは、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大に伴う蔓延防止等重点措置、そして緊急事態宣言を要請検討中という状況を考慮し、開催中止。ロハスフェスタ東京 2021 についても、全国的に新規感染者、重症者の増加、さらに医療現場の状況などを踏まえ開催中止となりました。

ロハスフェスタ淡路島 2021 も、緊急事態宣言措置の延長、及び会場の持ち込み飲酒や食事の禁止要請を受け開催中止となりましたが、日程を10月16日～17日に再設定し、地球温暖化防止対策に向けた行動の実践を目的に「ロハスフェスタ淡路島 2021 秋」として開催しました。淡路ロハスピクニック “ALOHAS” は予定通り開催。ハワイと姉妹都市である洲本市は、市民広場でアロハスピリットとLOHASの想いを掛け合わせた “ALOHAS” をテーマに多種多様なイベントが華やかに繰り広げられました。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策としては、『淡路花博 20周年記念花みどりフェア (秋期) 実施時における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン』に沿って、来場者、出展者、関係者への周知を徹底し感染防止対策を実施しました。天候にも恵まれ、来場者は安心して楽しんだ様子でした。

計画していたロハスフェスタ福岡については、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大防止の観点から規模を縮小して「ロハスピクニック福岡 produced by ロハスフェスタ」に名称を改め日程・内容を一部変更、入場料を無料にし、開催準備、調整等を関係事務所と進めてきました。しかし、緊急事態宣言措置再延長の可能性や会場の国営海の中道海浜公園の休園が継続される見通し等を考慮し、開催中止と判断されました。

今回で34回目となるロハスフェスタ万博 2021 AUTUMNは、日程を一部変更し開催。感染症対策を最優先に安全で安心な会場づくり、運営に努めました。嬉しいことに、

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

秋らしい陽気のなか、コロナ禍にも関わらず 14 万人以上の方々が来場されました。

10 月 2 日～3 日の開催で予定していたロハスフェスタ広島は、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染状況を加味し、令和 4 年 2 月 26 日～27 日に日程を変更し準備を進めてきましたが、蔓延防止等重点措置の延長の可能性を踏まえ協議し、開催中止となりました。

令和3年度 ロハスフェスタ	入場者数	出展数	回収量					
			ゴミ	使用済み 天ぷら油	牛乳 パック	ダウン	古本回収	紙袋回収
淡路ロハスピクニック “ALOHAS” 令和3年 10月 16日(土)～ 17日(日) 於：洲本市民広場(兵庫県洲本市)	5,502 人	27 フェース	- kg	- L	- kg	- 個	- 冊	- 枚
ロハスフェスタ淡路島2021秋 令和3年 10月 16日(土)～ 17日(日) 於：淡路島国営明石海峡公園(兵庫県淡路市)	11,380 人	159 フェース	360 kg	24 L	281 kg	6 個	40 冊	- 枚
ロハスフェスタ万博2021秋 令和3年 10月 29日(金)～ 31日(日) 11月 3日(水)、5日(金)～ 7日(日) 於：万博記念公園・東の広場(大阪府吹田市)	144,549 人	655 フェース	3,000 kg	420 L	300 kg	54 個	268 冊	1,397 枚
合 計	161,431 人	841 フェース	3,360 kg	444 L	581 kg	60 個	308 冊	1,397 枚